

失敗したつてよかたい

まもと

私は西国語で黒薔薇のお茶を作つてゐる感覚です。昨年の四月、西國が世界農業博覧会で認定された時、吾物を着て満腹平安大通知事と一緒に英語でスピーチして、いた女性と呼ばれ、「あ、見たことがありますか」ところ方のふれいしゃるのではありませんが、か。
西田紹介の代わりで、「EBI」とと外見つづけるように書つておられたいた感じで、「お嬢様や貴婦をされたりとのある君は女性の方ない、「名字が変わらぬ」の大変さを表す」存じます。それを避けるために同じ名字の人と結婚したいなどと思ったこともあります。夫婦別姓が認められるようになってから結婚しようか

とお題に当ったが、どうのなかない
ませんでした。
娘婿で書類上の名前は変わらず
か、せぬいはめれる跡にか迷わねた
時から慣れ親へじて改めての名前で
呼ばれたいと思つてゐる所へいたの
は、出産がさうなりました。
就農した当初、農業だけで生計を

バブル崩壊前の時代なり。私のほう
うな問題意識を持つていたら大変だ
ったと思います。時代と逆行していく
た訳ですから。でも幸いなことに、
今秋が取り組んでいることは全く、
たゞえ本流ではなくても迷流でもな

が想定は増加したこと
の如きで、然る「アメ横のやい
したたか」意匠に付いた。その結果
因縁の縁合つた付いたたか、即ちの
如きの如き。即ち付いたたかの縁合

私は国語で無意識の出来を作つてこの感覚です。昨日の日、回顧が世界商業運送を認定された時、萬物を若て満員船半知事と一緒に英語でスピーチしていた女性と呼ばれ、「あ、見たことがあります」という方おひいきしゃるのではないかと想ひました。

バブル崩壊前の時代なり。私のほう
うな問題意識を持つていたら大変だ
ったと思います。時代と逆行していく
た訳ですから。でも幸いなことに、
今秋が取り組んでいることは全く、
たゞえ本流ではなくても迷流でもな

が想定は増加したこと
の如きで、然る「アメ横のやい
したたか」意匠に付いた。その結果
因縁の縁合つた付いたたか、即ちの
如きの如き。即ち付いたたかの縁合

「うるわね、『EPC』です」お名乗つ
てお「大津さんですか」と返される
ことがほとんど。あひこともイヤな
風ではないが挨拶はしないのです
が、今回初めて、この種目に『EPC
』で載せて頂けることに喜びを
んでいます。世の中、変わらしく来し
るのもまだ思つた出来事でした。
運営を離し、環境エネルギー第一の
テーマにも頭を悩めておりますが、
金で面じような姿勢で取る組んでい
ます。つまづ、「ダメ元ばかりやつ
てしまひ」はじめの意識。どうなん
かと疑はざが。でも、もしかして
たのめんくわから知ればいい

オーツーファーム ER1さん

大庭愛梨（おおつ・えり）。1974年ドイツ生まれ、東京育ち。慶應大学環境情報学部卒、ドイツのミュンヘン工科大学修士課程修了。2003年、夫の郷里である南阿蘇村で就農し、無農薬米を栽培。NPO法人九州バイオマスフォーラム副理事長、阿蘇環境デザイン策定委員などを歴任。昨年、阿蘇が世界農業遺産に認定された国際会議で発表者を務めた。農業、農村の新しい技術について奮闘を続ける、3児の母。

朝日新聞 2014/6/14

専用

オーラルアート
マガジン

誕生日を過ぎてから、迷いや懲りなどはなくなりました。でも、新聞やテレビで取り上げられる度に、農業に対する理解が深まり、農業に呼ばれたつづる機会が増えてきました。農業や農村の前途後路を憂うる自身の言葉で伝えることは、役員の一つだと思っていましたが、時代の流れとともに、自分が法人化していくのではなく、我が家は伝統的な家族経営農家なのですが、我が家は法人化していくのが、時には知事とまで「これからは農業」なんという大それたテーマで語らうことと違和感を覚えていました。

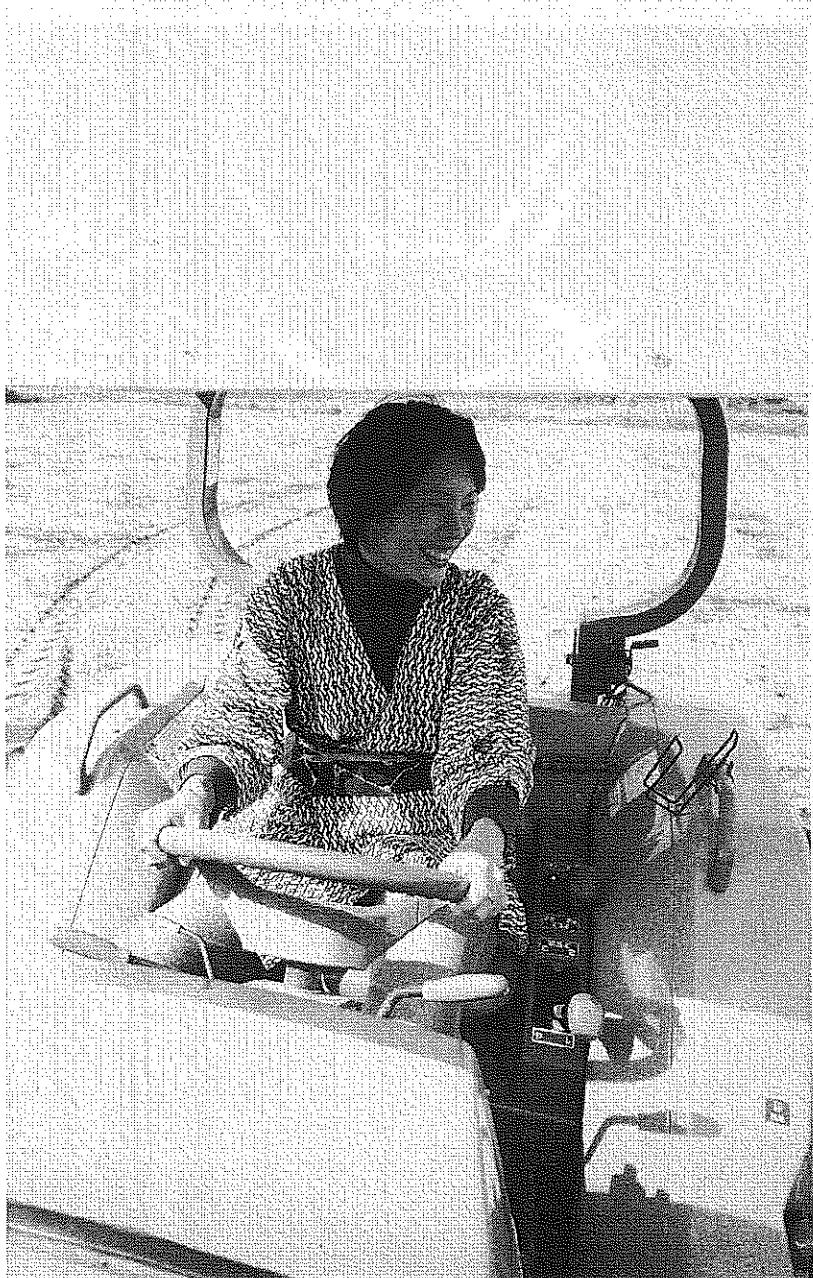
大規模化や法人化を勧め、効率性を考へると三つ並んで、最もはんぱないのが「松の木」だ。この「松の木」が、農家の「上り」がある、「下り」がない。私が日々幸運をもつて、よつたな季節感のある喜びと、苦難と出でてくるよつたな時間、そして何よりも、自分が食べているか自分が見えてる顔の見える關係」。これが、家族経営で田の間ぐるまたり売ったからといって、どう思つていらぬのです。私は、日本政府においりますが、それなのに、私が本当に取り沙汰される、した違和感があつたのです。

年は国連が定める「国際家族農業年」だというのです。調べてみると、世界農業遺産の認定機関であるFAO（国連食糧農業機関）の事務局長さんは、「長い目で見て、持続可能な食糧供給」が天然資源

Life is so precious!

仕事も人生も もっと楽しく！ 美しく！――②

撮影／森脅一 取材・文／藤田 優



ひとりひとりが暮らしやすい
社会をつくる提案として
選んだ農業という仕事

「02ファーム」主宰
大津愛梨さん

37歳。ドイツ生まれ、東京育ち。慶應義塾大学環境情報学部卒業後、同級生の夫とドイツの大学院に留学。夫の故郷、熊本県南阿蘇村に1970年に移住。叔父と共に有機無農薬米やあか牛を育てる。1944年、阿蘇の草木資源を使いNPO法人九州バイオマスフォーラムを立ち上げた。3人の男の母。

「おまえの手本は、おまえの手本をもつておまえの手本を立てる」。3人とも同じ

The logo for the American Astronomical Society (AAO) is displayed. It features a stylized globe on the left, showing continents and a grid pattern. To the right of the globe, the letters "AAO" are written in a large, bold, serif font. The letter "A" is tall and narrow, while the letters "AO" are wider and have decorative loops at the top.

大学で「環境と共生する都市計画」を專攻、転機はドイツでの留学生生活にあつた。國子保全計画を教わった教授は、自ら育てた有機小麦でパンを焼き生徒にふるまうような人だつた。「発言と行動が一致している人はかつこいい」と大津さんに影響を与えた。

「現代の生活で、環境を守るということはコストがかかる。そのことが広く

くりを考える農業だね」と。いいものをつくる生産者を貰い支える社会が育つていく希望を抱きながら、専業農家として働く叔父のところに、夫とふたりで就農したんです」

「うちのお米は安くないけれど、縦縛とその意味をわかりやる努力をしています。『もの家』が私たちのモットーです」撮影時に着ていた作業着は、娘が受けた浴衣を母がリメイクしたもの。夫もダンガリーシャツで作業をしていた。自分ら地いい生き方を実践するふたり

大津さん夫妻が拠点とする熊本県南阿蘇村の中郷地区は、阿蘇の名山が望める風光明媚な場所。土地の形を生かした田んぼ、そのなかには“お曾さん”的の建つ小さな森。「大好きなドイツの景色で、どこか似ている」と大津さん

知られている社会がドイツにはありました。農業は命を支える食糧を生み出した。その過程で国土や生物多様性を守りながら、自分たちが働く立場になつたとき、「力のしがいがあるのは、ただプラン提案するよりも、自然のなかでもの

る方法で育てているし、阿蘇に広がる草を資源に石油の代替エネルギーを生む「ブランドづくり」を自治体にもちかけた。評判は「口コミで全国に広がり、来年で10年目を迎えるO2ファーム」の稻作面積は当初より3倍に増えたという。

世界各国キャリアへ、5つの質問

- Q1 仕事の成功のためにしている習慣は？
相手の立場に立って、自分が何を求められているのかを考える。

Q2 バッグに必ず入っているもの3つは？
生傷が絶えない息子たちのための絆創膏、iPhone、名刺。

Q3 あなたの街のストレス解消スポットは？
温泉と水源。水が湧いてくるのを見ているだけでも癒やされます。

Q4 理想の週末の過ごし方は？
休みがとれた日は、自宅の庭で気の合う友人とバーベキュー。

Q5 人に言われてもうれしいほめ言葉は？
「いつも楽しそうにしているね」